

焼き芋の屋台

川のほとりにある公園の近くを、アイコとミア、二人の留学生が歩いていた。夕方になり、空はやわらかい金色に染まっていた。涼しい風が吹き、秋の葉の香りが漂っていた。



その時、遠くから歌声のような声が聞こえた。

「やきいも～やきいも～」

ゆっくりと屋台を押しているおじいさんの姿が見えた。あたたかい甘い香りが風に乗って広がった。

「食べてみよう！」とアイコが言った。

二人は屋台に近づいた。おじいさんはにっこり笑った。しわの多い顔だったが、目はとても元気だった。

「こんばんは！これは焼き芋ですよ。昔からある、日本の秋の味です。」

おじいさんは優しく説明した。

「寒い日には、みんなこの屋台の周りに集まって、あたたかい焼き芋を食べたものです。」

ミアが聞いた。「甘いですか？」

おじいさんは笑って答えた。

「とても甘いですよ。砂糖は使っていません。太陽と土の力だけです。」

二人は焼き芋を一本ずつ買った。新聞紙に包まれた焼き芋は、とても熱かった。

アイコが一口食べると、中はほくほくしていて、自然な甘さが広がった。

「おいしい！」アイコは笑いながら、焼き芋をふーふー冷ました。

ミアもにっこりして、手と心に広がるあたたかさを感じた。

「散歩を楽しんでね。」

おじいさんはゆっくりと屋台を押しながら、歌声とともに遠ざかっていった。

二人は焼き芋を大切に持ちながら、夕暮れの金色の光の中を、ゆっくりと歩き続けた。

や いも や た い 焼き芋の屋台

かわ こうえん ちか ふたり
川のほとりにある公園の近くを、アイコとミア、二人
りゅうがくせい ある
の留学生が歩いていた。

ゆうがた そら きんいろ そ すす
夕方になり、空はやわらかい金色に染まっていた。涼
かぜ ふ あき は かお ただよ
しい風が吹き、秋の葉の香りが漂っていた。

とき とお うたごえ こえ き
その時、遠くから歌声のような声が聞こえた。
「やきいも～やきいも～」

やたい お すがた み
ゆっくりと屋台を押しているおじいさんの姿が見えた。
あま かお かぜ の ひろ
あたたかい甘い香りが風に乗って広がった。

た い
「食べてみよう！」とアイコが言った。
ふたり やたい ちか わら
二人は屋台に近づいた。おじいさんはにっこり笑った。
おお かお め げんき
しわの多い顔だったが、目はとても元気だった。

や いも むかし
「こんばんは！これは焼き芋ですよ。昔からある、
にほん あき あじ
日本の秋の味です。」
やさ せつめい
おじいさんは優しく説明した。

「寒い日には、みんなこの屋台の周りに集まって、あたたかい焼き芋を食べたものです。」

ミアが聞いた。「甘いですか？」

おじいさんは笑って答えた。

「とても甘いですよ。砂糖は使っていません。太陽と土の力だけです。」

二人は焼き芋を一本ずつ買った。新聞紙に包まれた焼き芋は、とても熱かった。

アイコが一口食べると、中はほくほくしていて、自然な甘さが広がった。

「おいしい！」アイコは笑いながら、焼き芋をふーふーさ冷ました。

ミアもにっこりして、手と心に広がるあたたかさを感じた。

「散歩を楽しんでね。」

おじいさんはゆっくりと屋台を押しながら、歌声とともに遠ざかっていった。

ふたり や いも たいせつ も ゆうぐ きんいろ
二人は焼き芋を大切に持ちながら、夕暮れの金色の
ひかり なか ある つづ
光の中を、ゆっくりと歩き続けた。

焼き芋の屋台

川のほとりにある公園の近くを、アイコとミア、二人の留学生が歩いていた。

かわのほとりにあるこうえんのちかくを、アイコとミア、ふたりのりゅうがくせいがあるいていた。

Kawa no hotori ni aru kōen no chikaku o, Aiko to Mia, futari no ryūgakusei ga aruite ita.

(Aiko and Mia, two foreign students, were walking near a park by the riverside.)

夕方になり、空はやわらかい金色に染まっていた。

ゆうがたになり、そらはやわらかいきんいろにそまっていた。

Yūgata ni nari, sora wa yawarakai kin'iro ni somatte ita.

(It became evening, and the sky was dyed with soft golden colors.)

涼しい風が吹き、秋の葉の香りが漂っていた。

すずしいかぜがふき、あきのはのかおりがただよっていた。

Suzushii kaze ga fuki, aki no ha no kaori ga tadayotte ita.

(A cool breeze was blowing, and the scent of autumn leaves drifted through the air.)

その時、遠くから歌声のような声が聞こえた。

そのとき、とおくからうたごえのようなこえがきこえた。

Sono toki, tōku kara utagoe no yō na koe ga kikoeta.

(At that moment, a voice like singing was heard from far away.)

「やきいも～やきいも～」

やきいも～やきいも～

Yakiimo～ Yakiimo～
("Yakiimo～ Yakiimo～")

ゆっくりと屋台を押しているおじいさんの姿が見えた。
ゆっくりと やたいをおしている おじいさんのすがたがみえた。
Yukkuri to yatai o oshite iru ojiisan no sugata ga mieta.
(They saw an old man slowly pushing a cart.)

あたたかい甘い香りが風に乗って広がった。
あたたかい あまい かおりが かぜに のって ひろがった。
Atatakai amai kaori ga kaze ni notte hirogatta.
(A warm, sweet smell spread through the air.)

「食べてみよう！」とアイコが言った。
たべてみよう！とアイコがいった。
Tabete miyō! to Aiko ga itta.
("Let's try it!" said Aiko.)

二人は屋台に近づいた。
ふたりは やたいに ちかづいた。
Futari wa yatai ni chikazuita.
(The two of them approached the cart.)

おじいさんはにっこり笑った。
おじいさんはにっこり わらった。
Ojiisan wa nikkori waratta.
(The old man smiled warmly.)

しわの多い顔だったが、目はとても元気だった。
しわのおおいがおだったが、めはとてもげんきだった。

Shiwa no ōi kao datta ga, me wa totemo genki datta.

(His face was full of wrinkles, but his eyes were very lively.)

「こんばんは！これは焼き芋ですよ。昔からある、日本の秋の味です。」
こんばんは！これは やきいもですよ。むかしからある、にほんのあきのあじです。

Konban wa! Kore wa yakiimo desu yo. Mukashi kara aru, Nihon no aki no aji desu.

("Good evening! These are roasted sweet potatoes. A traditional taste of Japanese autumn.")

おじいさんは優しく説明した。
おじいさんは やさしく せつめいした。

Ojiisan wa yasashiku setsumeishiita.

(The old man explained kindly.)

「寒い日には、みんなこの屋台の周りに集まって、あたたかい焼き芋を食べたものです。」

さむいひには、みんな このやたいのまわりにあつまって、あたたかきいもを食べたものです。

Samui hi ni wa, minna kono yatai no mawari ni atsumatte, atatakai yakiimo o tabeta mono desu.

("On cold days, everyone used to gather around the cart and eat warm sweet potatoes.")

ミアが聞いた。「甘いですか？」

ミアがきいた。「あまいですか？」

Mia ga kiita. "Amai desu ka?"

(Mia asked, "Is it sweet?")

おじいさんは笑って答えた。
おじいさんはわらってこたえた。
Ojiisan wa waratte kotaeta.
(The old man laughed and answered.)

「とても甘いですよ。砂糖は使っていません。太陽と土の力だけです。」
とてもあまいですよ。さとうはつかっていません。たいようとつちのち
からだけです。
**Totemo amai desu yo. Satō wa tsukatte imasen. Taiyō to tsuchi no chikara
dake desu.**
("Very sweet. No sugar is used. Only the power of the sun and the soil.")

二人は焼き芋を一本ずつ買った。
ふたりはやきいもをいっぽんずつかった。
Futari wa yakiimo o ippon zutsu katta.
(They each bought one roasted sweet potato.)

新聞紙に包まれた焼き芋は、とても熱かった。
しんぶんしにつつまれたやきいもは、とてもあつかった。
Shinbunshi ni tsutsumareta yakiimo wa, totemo atsukatta.
(The sweet potatoes wrapped in newspaper were very hot.)

アイコが一口食べると、中はほくほくしていて、自然な甘さが広がった。
アイコがひとくちたべると、なかはほくほくしていて、しぜんなあまさが
ひろがった。
**Aiko ga hitokuchi taberu to, naka wa hokuhoku shite ite, shizen na amasa ga
hirogatta.**
(When Aiko took a bite, the inside was fluffy and the natural sweetness spread.)

「おいしい！」アイコは笑いながら、焼き芋をふーふー冷ました。
おいしい！アイコはわらいながら、やきいもをふーふーさました。

Oishii! Aiko wa warai nagara, yakiimo o fūfū samashita.

("Delicious!" said Aiko, laughing as she blew on the hot potato to cool it.)

ミアもにっこりして、手と心に広がるあたたかさを感じた。
ミアもにっこりして、てとこころにひろがるあたたかさをかんじた。

Mia mo nikkori shite, te to kokoro ni hirogaru atatakasa o kanjita.

(Mia smiled too, feeling the warmth spreading through her hands and heart.)

「散歩を楽しんでね。」
さんぽをたのしんでね。

Sanpo o tanoshinde ne.

("Enjoy your walk.")

おじいさんはゆっくりと屋台を押しながら、歌声とともに遠ざかっていった。

おじいさんはゆっくりとやたいをおしながら、うたごえとともにとおざかっていった。

Ojiisan wa yukkuri to yatai o oshinagara, utagoe to tomo ni tōzakatte itta.

(The old man slowly pushed his cart away, his song fading into the distance.)

二人は焼き芋を大切に持ちながら、夕暮れの金色の光の中を、ゆっくりと歩き続けた。

ふたりはやきいもをたいせつにもちながら、ゆうぐれのきんいろのひかりのなかを、ゆっくりとあるきつづけた。

Futari wa yakiimo o taisetsu ni mochinagara, yūgure no kin'iro no hikari no naka o, yukkuri to aruki tsuzuketa.

(The two girls continued walking slowly, holding their sweet potatoes carefully under the golden evening light.)

Vocabulary

Japanese	Hiragana	Romaji	Translation
焼き芋	やきいも	yakiimo	roasted sweet potato
屋台	やたい	yatai	food cart / stall
留学生	りゅうがくせい	ryūgakusei	foreign student
川のほとり	かわのほとり	kawa no hotori	riverbank
公園	こうえん	kōen	park
夕方	ゆうがた	yūgata	evening
金色	きんいろ	kin'iro	golden color
涼しい	すずしい	suzushii	cool (temperature)
秋	あき	aki	autumn
香り	かおり	kaori	scent, fragrance
歌声	うたごえ	utagoe	singing voice
押す	おす	osu	to push
甘い	あまい	amai	sweet
包む	つつむ	tsutsumu	to wrap
広がる	ひろがる	hirogaru	to spread
自然な	しぜんな	shizen na	natural
温かさ	あたたかさ	atatakasa	warmth
笑う	わらう	warau	to laugh, smile
冷ます	さます	samasu	to cool down (something hot)
散歩	さんぽ	sanpo	walk, stroll

© 2025 myjapaneseexperience.com

All rights reserved.

This material is for personal and educational use only.

Not for commercial redistribution without permission.